

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場取引所 大

上場会社名 曾田香料株式会社

コード番号 4965 URL <http://www.soda.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中地 俊朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長 (氏名) 中島 直文

TEL 03-5645-7340

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	12,632	3.3	1,195	35.1	1,163	43.5	687	52.4
22年3月期第3四半期	12,227	△17.4	885	△55.6	810	△59.9	451	△63.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	68.82	—
22年3月期第3四半期	45.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	18,995	12,817	66.3	1,259.32
22年3月期	18,286	12,296	66.1	1,209.60

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 12,588百万円 22年3月期 12,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
23年3月期	—	7.00	—		
23年3月期 (予想)				7.00	14.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,200	0.5	1,310	16.9	1,245	21.9	695	23.0	69.52

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 10,000,000株 22年3月期 10,000,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 3,582株 22年3月期 3,508株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 9,996,476株 22年3月期3Q 9,996,492株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P. 2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復を続けてきましたが、海外経済の減速や円高の進行による輸出の減速を主因に、回復ペースは鈍化し、停滞感が強まっております。個人消費は、猛暑効果や景気対策により、一時的に持ち直しの動きがみられましたが、雇用・所得環境は依然厳しい状況にあり、設備投資の回復も緩やかなものとなっております。

香料業界におきましても、夏場の猛暑による飲料用香料等の需要増はあったものの、消費者の低価格志向を背景とした製品価格の低下により、国内市場は厳しい状況にあります。

このような状況下、当社グループは収益改善に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、調合香料事業のフレーバー製品の販売増と合成香料の販売回復及びそれらに伴う工場の稼働率向上により、売上高は12,632百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は1,195百万円（同35.1%増）、経常利益は1,163百万円（同43.5%増）、四半期純利益も687百万円（同52.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期末の資産残高は18,995百万円となり、前連結会計年度末と比較して708百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加663百万円、受取手形及び売掛金の増加239百万円、棚卸資産の増加96百万円、有形固定資産の減少290百万円などによるものです。

(負債)

当第3四半期末の負債の残高は6,177百万円となり、前連結会計年度末と比較して187百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加617百万円、短期借入金の増加212百万円、賞与引当金の減少187百万円、長期借入金の減少400百万円などによるものです。

(純資産)

当第3四半期末の純資産の残高は12,817百万円となり、前連結会計年度末と比較して520百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加558百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は66.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の今後の見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、現段階では平成22年11月4日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準の適用」

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

なお、これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,268,187	3,604,701
受取手形及び売掛金	4,531,748	4,292,542
商品及び製品	1,384,385	1,160,668
仕掛品	1,193,273	1,523,073
原材料及び貯蔵品	1,339,050	1,136,815
その他	316,394	306,763
貸倒引当金	△18,060	△14,270
流動資産合計	13,014,978	12,010,294
固定資産		
有形固定資産	4,462,750	4,753,423
無形固定資産	101,061	114,747
投資その他の資産	1,416,432	1,408,504
固定資産合計	5,980,244	6,276,676
資産合計	18,995,223	18,286,971
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,526,615	1,909,470
短期借入金	612,680	400,000
未払法人税等	244,988	212,864
賞与引当金	186,337	374,206
役員賞与引当金	9,479	8,979
その他	584,484	638,983
流動負債合計	4,164,586	3,544,504
固定負債		
長期借入金	—	400,000
退職給付引当金	1,785,307	1,819,678
役員退職慰労引当金	119,055	113,190
その他	108,307	112,608
固定負債合計	2,012,670	2,445,477
負債合計	6,177,256	5,989,982

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	9,684,310	9,126,267
自己株式	△2,404	△2,361
株主資本合計	12,628,760	12,070,761
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90,266	114,347
繰延ヘッジ損益	804	△760
為替換算調整勘定	△131,180	△92,627
評価・換算差額等合計	△40,110	20,959
少数株主持分	229,316	205,268
純資産合計	12,817,966	12,296,989
負債純資産合計	18,995,223	18,286,971

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	12,227,366	12,632,880
売上原価	8,519,078	8,578,590
売上総利益	3,708,287	4,054,290
販売費及び一般管理費	2,822,849	2,858,290
営業利益	885,438	1,195,999
営業外収益		
受取利息	3,389	8,001
受取配当金	9,464	15,346
その他	9,442	14,523
営業外収益合計	22,295	37,872
営業外費用		
支払利息	13,590	7,812
債権売却損	590	—
休止固定資産減価償却費	76,189	57,669
その他	7,025	5,283
営業外費用合計	97,396	70,766
経常利益	810,338	1,163,104
特別損失		
固定資産除却損	3,575	7,639
ゴルフ会員権評価損	—	3,000
特別損失合計	3,575	10,639
税金等調整前四半期純利益	806,762	1,152,465
法人税等	317,703	413,386
少数株主損益調整前四半期純利益	—	739,079
少数株主利益	37,573	51,081
四半期純利益	451,485	687,997

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	806,762	1,152,465
減価償却費	517,366	452,934
のれん償却額	12,272	12,272
固定資産除却損	3,506	5,824
ゴルフ会員権評価損	—	3,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,826	4,688
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△206,804	△186,775
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,542	500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△41,124	△28,505
受取利息及び受取配当金	△12,853	△23,348
支払利息	13,590	7,812
売上債権の増減額 (△は増加)	△917,685	△280,716
たな卸資産の増減額 (△は増加)	844,414	△108,431
仕入債務の増減額 (△は減少)	521,609	637,764
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	221,581	—
その他	58,915	36,787
小計	1,824,836	1,686,271
利息及び配当金の受取額	12,581	19,691
利息の支払額	△14,128	△8,484
法人税等の支払額	△451,116	△353,587
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,372,174	1,343,891
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△10,337	△11,136
有形固定資産の取得による支出	△724,449	△244,512
無形固定資産の取得による支出	△1,080	△10,738
その他	2,067	△70,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△733,798	△336,504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△189,360	218,170
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△400,000
自己株式の取得による支出	—	△43
配当金の支払額	△139,966	△129,980
少数株主への配当金の支払額	△10,113	△9,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,560	△321,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,285	△22,592
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	693,650	663,486
現金及び現金同等物の期首残高	2,720,889	3,604,701
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	39,988	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,454,529	4,268,187

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。